

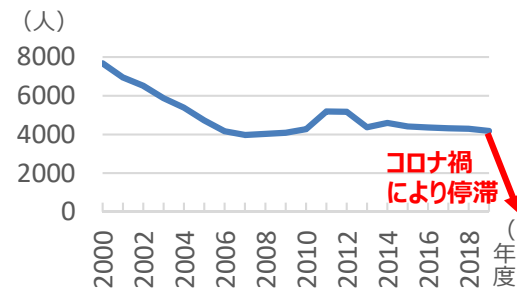
RECONNECT イニシアティブ - 科研費「国際先導研究」の創設による国際共同研究の推進 -

(Research Excellence through International Collaboration and Network Construction)



- コロナ禍により停滞した研究交流がワクチン接種の広がりに伴い欧米を中心に再開。我が国も国際的な研究動向に乗り遅れることなく一刻も早く世界最先端の研究コミュニティに再接続することが重要
- 科研費に新種目「国際先導研究」を創設し、高い研究実績と国際ネットワークを有するトップレベル研究者が率いる優秀な研究チームによる、海外トップレベル研究チームとの国際共同研究を強力に支援
- さらに、若手（PD・院生）の参画を要件とし、長期の海外派遣・交流や自立支援を行うことにより、世界と戦える優秀な若手研究者の育成を推進

海外への派遣研究者数（30日超）の推移



審査体制

- ・海外レフェリーを含む、国際共同研究の経験・識見をもつ審査チーム
- ・学術専門性だけでなく、先進性・将来性・優位性も評価
- ・当該研究への研究機関による支援も審査の対象

期間・額

7年（10年まで延長可）
最大5億円を基金により措置

科研費「国際先導研究」による支援

応募要件

- 国際共同研究の高い実績を有するPI
- 5年以内のTop10%国際共著論文実績
- スポークスパーソン経験 など



トップレベル研究チーム

※約20～40名の研究チームを想定（PD・院生が約8割）



質の高い国際共著論文の産出



ハイレベルな国際共同研究の推進



世界と戦える優秀な若手研究者の育成

- 若手育成の経費を別枠で措置
- PD・院生の人数に応じた研究環境整備費
- テニユアで採用された若手の研究費



PD・院生のカウンターパートの研究チームへの長期（2～3年）の海外派遣・交流／自立支援



海外トップレベル研究チーム

PDはPIの下で自らテーマを設定しメンターの支援を受け研究に従事



資金の分担を前提

